

## 投資事業評価調書（新規）

部課室名	砂防課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	砂防課長 松本正利 (一宮大祐)	内線	4459 (4465)
事業種目	砂防事業	事業名	事業区間	総事業費	1.5 億円
		通常砂防事業 はまさかにしたにがわ 浜坂西谷川	美方郡新温泉町 はまさか 浜坂	内用地補償費	0.1 億円
所在地				着手予定 年 度	完成予定 年 度
美方郡新温泉町浜坂				H 2 4	H 2 6
事業目的			事業内容		
<b>土石流対策</b> 当溪流は土石流危険溪流に該当し、溪岸の浸食が進むなど、土石流発生危険性が高まっている。このため、えん堤の設置により、土砂災害から災害時要援護者関連施設等を保全し、地域の安全・安心な暮らしを守る。			・砂防えん堤工 1基 (H = 10.0m, L = 70.0m)  [負担割合 国:1/2、県:1/2]		
評価視点	評価結果の説明				
(1)必要性 〔流域の状況〕	・(普)宮谷川に流入する土石流危険溪流 ・流域は溪床土砂が厚く堆積しており、溪岸の浸食も進むなど、流域の荒廃が進行している。 ・谷出口に災害時要援護者関連施設である老人福祉施設があり、土砂災害の危険性が高い。				
〔保全対象等の状況〕	・土石流が発生した場合の氾濫面積は約1ha(長さ100m、最大幅100m程度)に及ぶ。 ・老人福祉施設「NPOにーず・デイ」(災害時要援護者関連施設)、人家33戸、町道				
(2)有効性・効率性 〔効果〕	・平成19年度に土砂災害警戒区域を指定済みであり、警戒避難体制の整備によりソフト対策が進められている。これに加え更にハード整備による土砂災害対策の充実を図り、地域の安全・安心な暮らしを守る大きな効果がある。				
〔事業執行環境〕	・工事用道路として町道からえん堤設置位置までの寄り付きが容易であり、また現場近くに広い作業ヤードを確保することができることから、円滑な事業執行が可能である。				
(3)環境適合性	・工事による掘削法面等については緑化を図るなど環境保全に努める。				
(4)優先性	・自力による避難が困難な災害時要援護者が利用する施設があることから、早期着手に対する施設からの要望が強い。  以上より、H24年度に事業着手し早急な対策が必要である。				

はまさかにしたにがわ

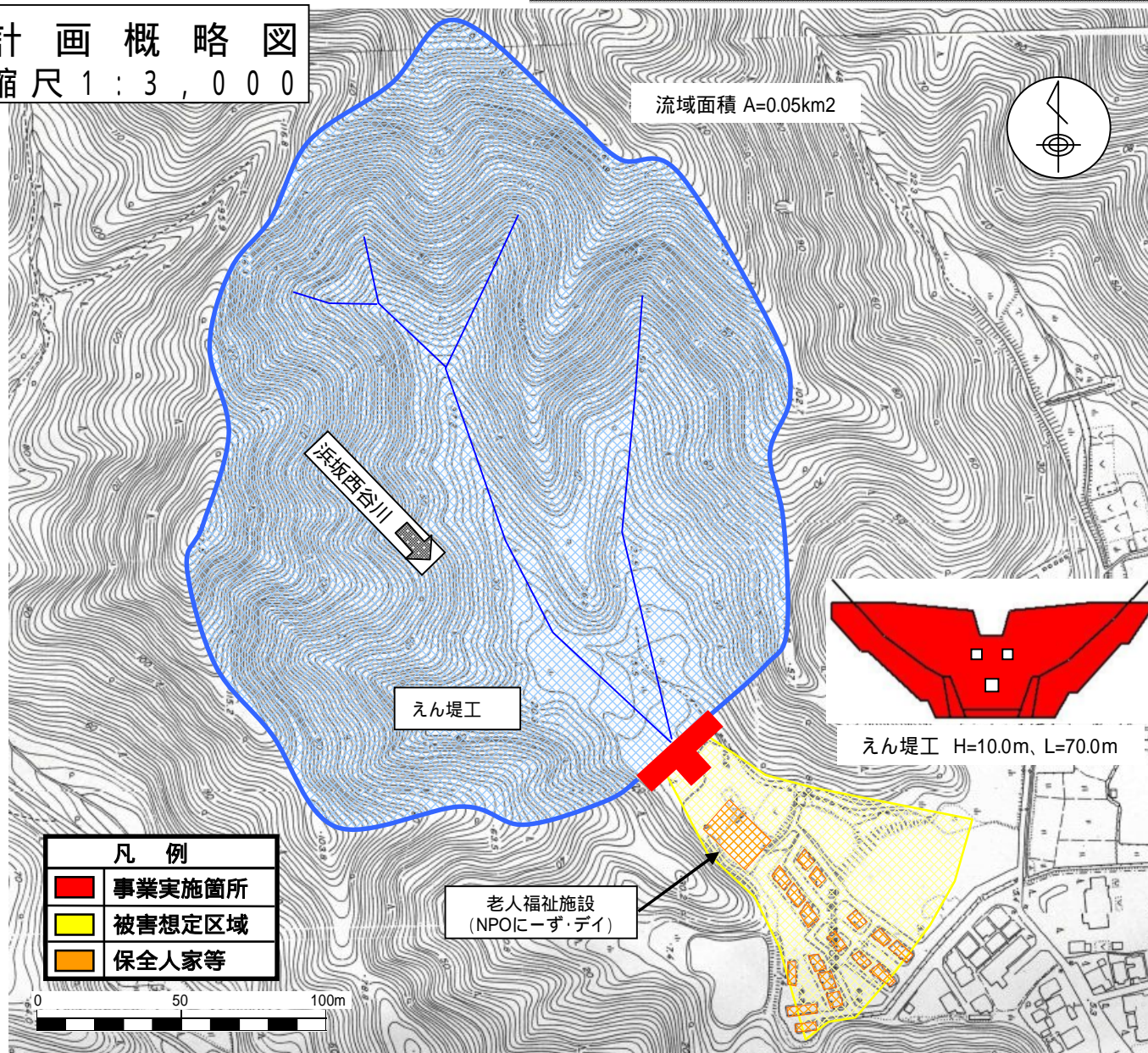
# 浜坂西谷川

[ 新温泉町 ]



## 計画概略図

縮尺 1 : 3 , 0 0 0



凡例	
	事業実施箇所
	被害想定区域
	保全人家等